

SEZON MUSEUM OF MODERN ART

平成31年2月

関係者各位

「The ENGINE 遊動される脳ミソ／小野耕石 門田光雅」展

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、「The ENGINE 遊動される脳ミソ」展を、2019年4月よりセゾン現代美術館にて開催いたしますのでご案内申し上げます。

小野耕石と門田光雅の作品には、作家の意図をも超え、身体から生まれ出た「色」がみなぎっています。版を刷り重ねることによって幾多のインク層をつくり、独自の版画手法を追求する小野の作品は、立体絵画ともいえる色の厚みとグラデーションが、鑑賞者に百花繚乱たる色の変化を感じさせます。また、動物の頭蓋骨やセミの抜け殻にインクの色が増殖する姿は、視覚のみならず触覚をも刺激するでしょう。

色や顔料の制限を打ち破ろうとする門田の絵画は、近年では石竹色（せきちくいろ）、浅葱色（あさぎいろ）など日本古来に通じる中間色で描かれ、さらにパール系の新色顔料による淡い光を放つ画面からは工芸のような素材感が感じられます。日本だからこそ生みだせる表現に、挑戦し続けている作家です。

作品の形式、それに見合った手法などにはおさまらない、作家自身から溢れでてくるもの、つくる原動力 - The ENGINE（エンジン）。本展は、二作家の作品とセゾン現代美術館コレクションを織り交ぜながら、作品を発動させる”エンジン”について色を手がかりに探究します。私たちの脳ミソを作品コンセプトから解き放ち、未知の感覚へと遊動する展覧会です。

ぜひ貴紙誌にて掲載頂きたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

◆東京事務所：TEL:03-5579-9725 FAX:03-5579-9726 mail:rieiko@smma.or.jp

〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9 THE WORKS ANNEX 204（担当：坂本）

「The ENGINE 遊動される脳ミソ」

小野耕石×門田光雅

The ENGINE – It induces us to...

Koseki Ono × Mitsumasa Kadota

<展覧会概要>

会 場：セゾン現代美術館

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉芹ヶ沢 2140 TEL:0267-46-2020

会 期：2019年4月20日（土）－9月1日（日）

開館時間：10:00－18:00（入館は閉館の30分前まで）

休 館 日：木曜日（5月2日は開館／8月は無休）

入 館 料：一般 1500 円（1400 円）、大高生 1000 円（900 円）、中小生 500 円（400 円）

（ ）は団体 20 名以上の料金

主 催：一般財団法人セゾン現代美術館

<関連イベント>

●アーティスト・トーク

小野耕石×門田光雅×上石学（聖心女子大学現代教養学部哲学科准教授）×堤たか雄（セゾン現代美術館代表理事・館長）

*トーク後に、岩崎真治によるハンマーダルシマー演奏会を行います。こちらも是非ご参加ください。

日時：6月29日（土）14:00－ 定員：30名 無料／要当日観覧券 *要申込

●門田光雅ワークショップ「空想の虫を描こう」

作品と共に蝶の標本も展示される本展からイメージを膨らませて、作家と共に「空想の虫」を描きます。

日時：8月3日（土）10:30-12:00

対象：小学生と保護者 定員：10組 無料／要当日観覧券 *要申込

●小野耕石×門田光雅ギャラリー・トーク

日時：8月3日（土）14:00－ 定員：20名 無料／要当日観覧券 *要申込

<イベント申込方法>

FAX:03-5579-9726 もしくは e-mail:karuizawa@smma.or.jp にて、下記項目をお知らせください。

1. 参加希望イベント 2. お名前 3.人数 4. ご連絡先（電話番号／E メールアドレス）

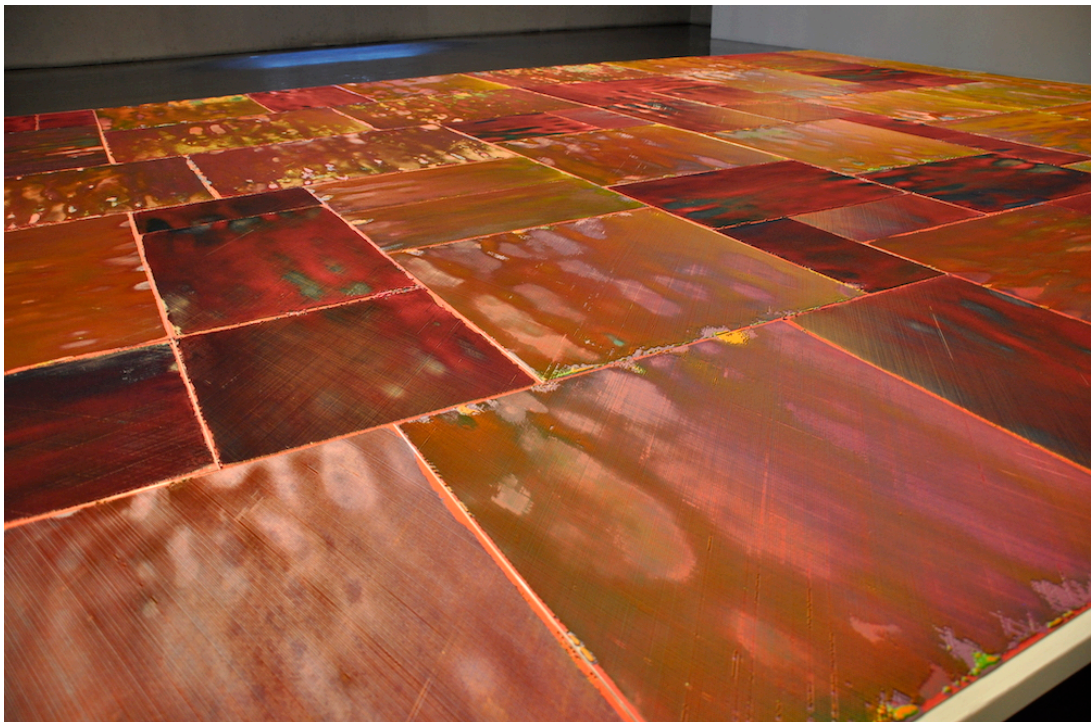
<出品作家>

小野耕石／Koseki Ono

1979年倉敷市生まれ。シルクスクリーンにより画面に無数の細かい菱型が並ぶように版を制作し、色を変えながら重ね刷りあげる独自の表現方法を追求します。インクの柱を動物の頭蓋骨に植え付けた《Inducer》シリーズなど、平面と立体の間に往來しながら版画の可能性を広げています。近年では、「開館 20 周年記念 -版の美Ⅲ- 現代版画の可能性」(茅ヶ崎市美術館／神奈川)等に参加。本展では、新たな表現方法によるコミッションワークも発表いたします。

門田光雅／Mitsumasa Kadota

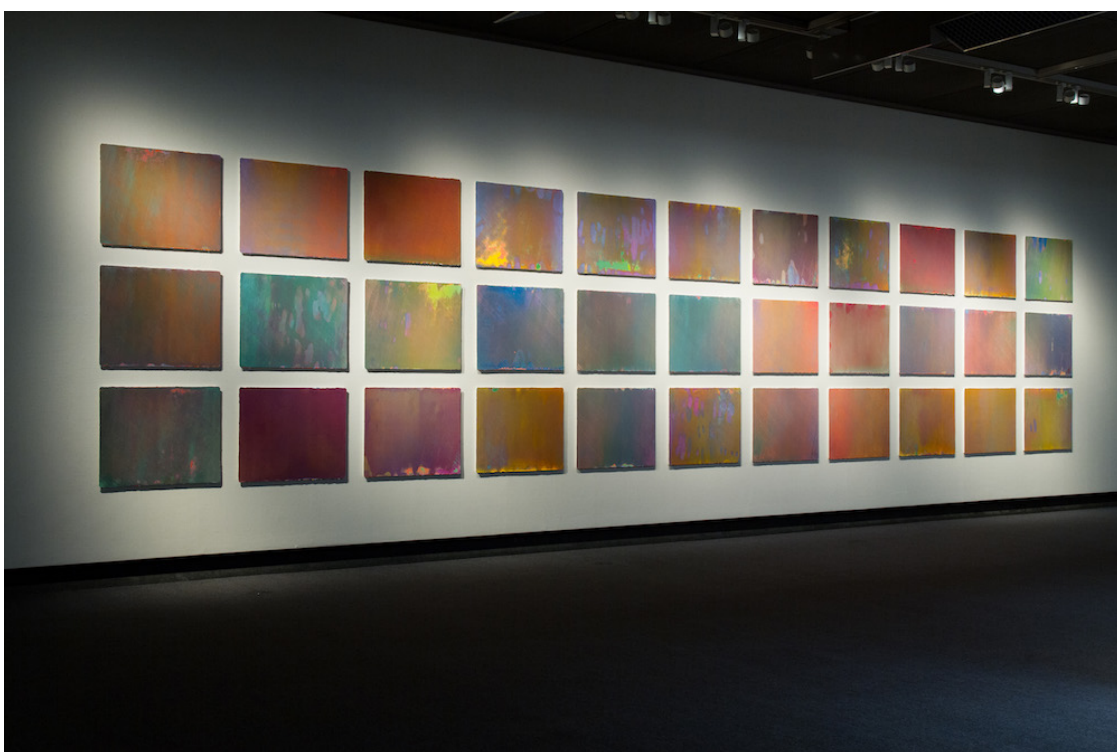
1980年静岡生まれ。形体に拘束されない自由さと葛藤への関心があり、そこから生まれる今日の絵画表現を素材性と身体性の中で追求します。さらに絵画の領域を広げていった先の、立体作品《Time Machine》も新たな展開として見ることができます。近年では、「ART colours Vol.27 門田光雅 TELEPORT PAINTINGS 展」(パークホテル東京)等で個展を開催。本展では、新作となる大作《Clock》(280×500cm)も発表いたします。



小野耕石 《波絵》 2017- ©小野耕石・Tokyo Publishing House



門田光雅 《maps》 2018



小野耕石 《Hundred Layers of colors》2014- 撮影：青地大輔 岡山県立美術館展示風景



小野耕石 《Inducer.07》2018 ©小野耕石・Tokyo Publishing House



門田光雅 《anima6》 2018



門田光雅 《coil》 2018